

⑤ 地域防災力の強化について

● 減災の効果を上げるには、自分の命は自分で守るという「自助」と、地域住民の命は地域住民が支え合って守るという「共助」と、行政が担うべき「公助」の3つが重要である。

中でも共助は、日頃から自治会を単位とした自主防災組織等での地域防災力強化の重要性が指摘されている。地域防災に不可欠な近所付き合いの希薄化により、隣に誰が住んでいるか分からない状態となっている地域では、地域防災力の低下が懸念される。

地域防災力強化には「ハード、ソフト両面にわたる行政のサポート強化」が重要だと考えるが、県はどのように取り組むのか。

答弁) 危機管理統括監(要旨)

● 地域防災力の向上を図るため、県民に対する自助・共助の意識啓発と、地域の防災リーダーの育成に取り組んでいる。県民の意識啓発については、平成24年度「大規模地震に対する備え」をテーマに、圏域リレーキャンペーンや地震対策DVD作成による「自助実践200万人運動」を展開し、地震災害の備えや災害伝承についての防災フォーラムを開催していく。地域の防災リーダーの育成については、23年度、目標の200人を大きく上回る354人の参加があった、災害図上訓練(DIG)の「指導者養成講座」を引き続き実施し、地域における訓練の普及と、防災リーダーとしての活動をお願いしていく。加えて、「市町村振興補助金」の重点政策推進事業に「防災」を位置付け、防災資機材の整備など支援していく。



ご意見・ご要望・ご相談 お寄せ下さい

行政への要望や生活相談など、お気軽にお寄せ下さい。
法律相談のご紹介もします。

TEL/FAX) 058-215-8195
E-MAIL) yoshmzn@gmail.com



朝の街頭演説実施中!

以下の場所で、街頭演説を実施しています。
見かけたら声を掛けて頂ければ幸いです。

- 月曜日…国道256号線と環状線の「福光東2東」交差点 AM8:00~
- 火曜日…マーサ21前の「正木古川東」交差点 AM7:50~
- 木曜日…忠節橋を南進。西野町交差点 AM8:00~
七郷小学校北側の交差点 PM5:00~
- 金曜日…西 岐 阜 駅 前 AM7:30~



岐阜県議会議員

水野よしちか通信

第5号 2012.春

岐阜県議会公明党 編集・発行 水野吉近 岐阜市鷺山白鷺町1769-2 TEL)058-215-8195 E-MAIL) yoshmzn@gmail.com



◎ごあいさつ

春の日差しがふり注ぎ、日に日に暖かさを感じる季節となりました。皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。東日本大震災から1年が経過し、お亡くなりになられた方々に、あらためて哀悼の誠をささげますとともに、被災地の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

新年度を迎え、岐阜県においては「ぎふ清流国体」「ぎふ清流大会」が今秋行われます。両大会の大成功はもとより、大会を通じて岐阜県のPRや、来場者へのおもてなし活動から生まれる地域住民の絆、県内産業の活性化などに成果が得られるよう活動してまいります。

2月24日から3月22日まで、平成24年第1回岐阜県議会定例会が開かれ、私は一般質問を行うなど、精力的に議員活動をしてまいりました。ここにその一端をご報告させていただきます。

安全・安心の県民生活を推進するため、日々精進し努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

岐阜県議会議員 **水野吉近**

● 2011年11月8日、9日 産業振興・まちづくり対策特別委員会視察



産業振興・まちづくり対策特別委員会視察として、自然エネルギーを活用した発電施設を視察しました。内容は以下の通りです。

・九州電力の八丁原地熱発電所(大分県)

出力11万kw、約20万世帯の一般家庭の電力需要を担う能力を持つ日本最大の地熱発電所。深さは浅いもので760m、深いもので3000mの井戸(蒸気井)が約30本ある。

・九州電力のメガソーラー大牟田発電所(福岡県)

かつて石炭産業を中心に発展した、大牟田の港火力発電所跡地を活用した、九州初の大規模太陽光発電所。太陽光パネルは約14,000枚、出力は3,000kwで、昼間の家庭用電気で約2,200戸分に相当する。



地熱によって吹き上がる高圧の蒸気



メガソーラー大牟田発電所



輝けはばたけだれもが主役 **2012**

ぎふ清流国体

ぎふ清流大会

